

いつせい地方選挙後半戦 まもなく投票(4/26)を迎えます

大内くみ子水戸市長候補の街頭演説



大内くみ子候補の街頭演説は、日本共産党茨城県委員会ホームページで見られます。(共産党茨城県委員会検索)

市長選・市議選告示 12市で4議席増めぞす

茨城県の日本共産党は、水戸市(定数28、立候補36人)をはじめ、日立市(定数28、立候補32人)、牛久市(定数22、立候補27人)、筑西市(定数24、立候補28人)、龍ヶ崎市(定数22、立候補28人)など12市議選(1補選含む)に計23人(現16、元2、新5)を擁立し、前回比4議席増をめざしてたたかいます。

県都・水戸市では、なかにわ次男候補、田中まさき候補=以上現=、土田きよみ候補=新=の3候補が立候補しました。

このうち、水戸市議選に立候補した土田きよみ候補は、同日告示の市長選に立候補した大内くみ子候補(明るい水戸市をつくる会)=無所属新、共産党推薦=とともに第一声。「憲法をないがしろにする安倍

政権は許せない」と力を込め、「市政がやるべきことは大規模事業などではない。保育所の増設や介護の充実、生活道路の整備などやるべきことは山ほどある。市民のために全力で働きたい」と訴えました。

大内市長候補は、現市政がこの4年間に国保税や上下水道料、介護保険料などを値上げし、市民向けの各種サービスを削ってきたことに「誰のための市政なのか」と批判し、巨大な市民会館や体育館などの施設規模を白紙に戻し、見直す立場を強調。東海第2原発の廃炉、戦争立法阻止を訴えました。(2015年4月20日 しんぶん赤旗)

全国学力テスト 学校の結果公表 前回32教委

文部科学省は21日、小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力テスト(全国学力・学習状況調査)を実施しました。国・公・私立学校のすべての小中学校を対象にした全員参加方式で、全国3万校余りの約222万6000人が国語と算数・数学、理科の3教科のテストを受けました。

国語、算数・数学は、「知識」に関する問題(A問題)と、「活用」に関する問題(B問題)に分けて実施。理科は「知識」と「活用」に関する問題を一体的に問うとしています。

理科は2012年から実施され、3年に1度行うとされます。理科は、12年は抽出方式で、全員参加方式は今回が初めてです。

文科省は「調査により測定できるのは学力の特定の一部」「学校における教育活動の一側面」とするものの、都道府県ごとの平均正答率(平均点)などを公表するとしています。前回から市町村教育委員会が学校別結果を公表することや、都道府県教育委員会が市町村教委の同意を得て市町村別や学校別の結果の公表が可能とされました。「点数がすべて」と子どもを点数競争に追い立て、心を傷つけるなど、すでに大きな弊害を生み出しています。

文科省によれば、昨年11月1日現在で、都道府県教委が市町村の結果を平均正答率まで含めて公表したのは7道県。市町村教委(政令市含む)が市町村立学校の結果を平均正答率まで含めて公表したのは32教委にのぼります。

内申に反映

この4月、大阪府教育委員会は全国学力テスト結果を公立高校入試の「調査書の評定」(内申点)に反映させる方針を決定。これに対し、日本共産党大阪府委員会は「一人ひとりの子どもに対して学校が総合的に行う教育評価に異常な競争を持ち込み、市町村と学校に対して府の評価基準を押し付けるものであり許されません」と批判しています。